



# 極北の村・ シオラパルク

植村直己、初めての  
単独犬ぞり旅から50年

2023年

2024年

10月3日 **火** ▶ 1月28日 **日** **入場無料**

10:00 ~ 18:00 | 展示室への入室は  
17:30まで

[休館日] 月曜休館・祝日が月曜日の場合は開館し翌火曜日休館・12月29日~1月5日  
\*10月9日(スポーツの日)・1月8日(成人の日)は開館し翌日休館

感染症予防対策のため日程等が変更になる場合があります。  
最新情報は冒険館のホームページをご確認いただくかお問い合わせください。

村人のセイウチ狩りに同行した植村直己(正面)。狩りが終わって解体を手伝う(1973年5月下旬ごろ/写真提供=文藝春秋)



植村冒険館

公益財団法人植村記念財団 植村冒険館  
〒173-0003 東京都板橋区加賀一丁目10番5号  
植村記念加賀スポーツセンター内  
TEL 03-6912-4703 FAX 03-6912-4705  
[www.uemura-museum-tokyo.jp](http://www.uemura-museum-tokyo.jp)

# 極北の村・シオラパーク

植村直己、初めての単独犬ぞり旅から50年

令和5年10月3日(四)～令和6年1月28日(日)

昭和45年(1970年)8月、29歳の時に世界初の五大陸最高峰登頂を達成した植村直己さんは、次に「南極大陸をたったひとりで犬ぞりで横断する」という壮大な目標を立てました。この新しい目標に向かってまず行ったのは、犬ぞりの扱い方を覚えることです。昭和47年(1972年)9月、今も犬ぞりで狩猟を行っているグリーンランド最北の村・シオラパークに入り、この村で暮らしはじめます。

子どもたちから言葉を教わり、素振りをしてムチの練習を始め、犬ぞり操縦の技術を身につけていきます。

当時の暮らしぶりとは今から50年前に達成された、初めての単独犬ぞりの旅の様子をご紹介します。



〈写真提供＝文藝春秋〉

## 主な展示品

毛皮や骨・民芸品など北極で入手した品々、蔵書＝グリーンランドに関する本 など

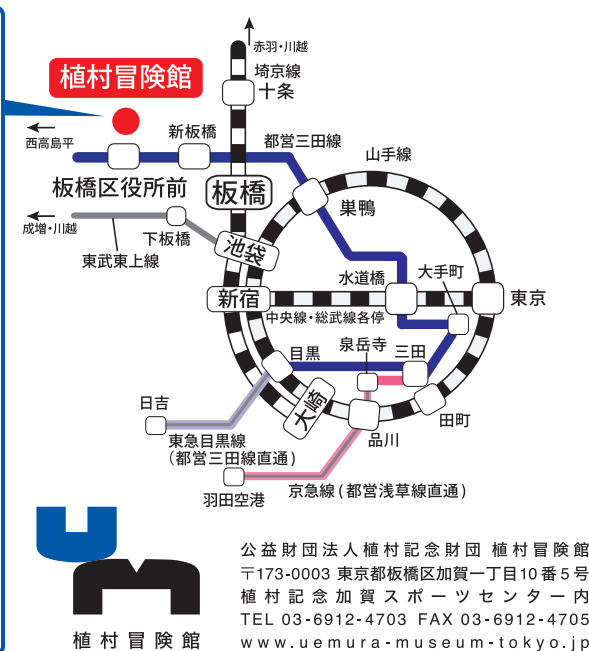
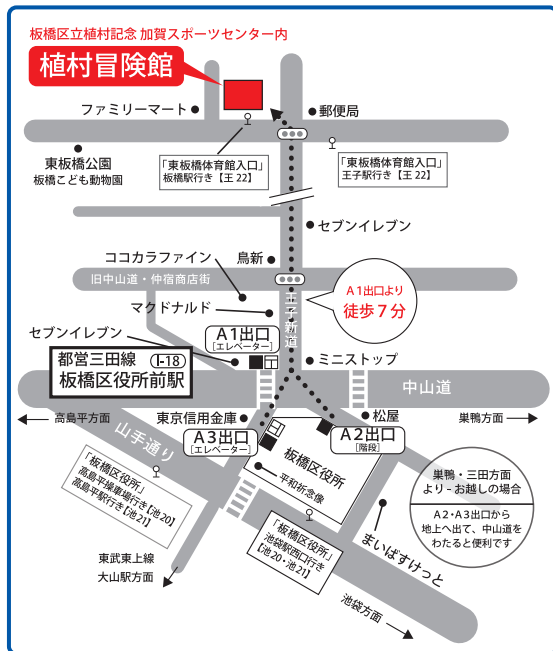
- スライドショー「植村直己、セイウチ狩りに同行する」\*約7分  
植村直己さんが撮影した秘蔵のモノクロ写真で綴るスライドショーです。村の人に同行したセイウチ狩りの様子をご紹介します。
- スライドショー「本日もシオラパーク」11月25日より  
今年も11月中旬からシオラパークに滞在する犬ぞり案内人・山崎哲秀さんにシオラパークから写真をお送りいただく特別企画です。極夜を迎えて、目の前の海が凍り始める今のシオラパークの様子をご覧ください。〈展示期間中に不定期で更新します／通信事情により日程が変わる場合があります〉

## 施設案内 植村冒険館は板橋区加賀にリニューアルオープンしました

植村冒険館は令和3年12月に加賀スポーツセンター(旧・東板橋体育館)内に移転し、リニューアルオープンしました。植村直己さんが暮らしていた仲宿商店街にほど近いこ加賀で、新しい展示を行っています。

**3階 常設展示**  
館内に入ると、大画面の「イントロダクションシアター」がみなさまをお迎えます。床面にも広がる大迫力の映像で、植村さんの代表的な冒険である「アマゾン川イカダ下り」「エベレスト」「北極点単独行」の3編をご紹介します(各5分)。常設展示は、『今も「ここ」に植村直己がいるかのような感覚』へ誘うテーマで構成しています。世界を駆け抜けた冒険家・植村直己の足跡をご覧ください。

このほか、施設全体で植村さんに触れていただけるよう、エレベーターホールの大型写真ははじめ、ウエムラチャレンジベース(1階)、パネル展示(2階・プールギャラリー)、言葉の回廊(階段)に関連する展示があります。



**ご利用案内**

- 開館時間：10:00～18:00 (展示室への入館は17:30まで)
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)・年末年始
- 入館料：無料

**交通のご案内**

- 都営地下鉄三田線 板橋区役所前駅下車 A1出口より徒歩7分
- 都営地下鉄三田線 新板橋駅下車 徒歩12分
- JR埼京線 板橋駅西口よりバス(国際興業バス・王22系統/王子駅行き) 東板橋体育館入口停留所下車 徒歩1分 [参考] ●JR埼京線 板橋駅下車 徒歩15分
- 東武東上線 下板橋駅下車 徒歩15分

**お車で越しの方へ**  
加賀スポーツセンターの駐車場をご利用いただけます。【28台/20分100円】冒険館をご利用の場合は最初の40分が無料になります。お帰りの際に1階総合受付で駐車券をご提示の上、認証を受けてください。

公益財団法人植村記念財団 植村冒険館  
〒173-0003 東京都板橋区加賀一丁目10番5号  
植村記念加賀スポーツセンター内  
TEL 03-6912-4703 FAX 03-6912-4705  
www.uemura-museum-tokyo.jp

## 植村直己 ●うえむら・なおみ



昭和16年(1941年)兵庫県生まれ。明治大学入学と同時に山岳部に入り本格的な登山を始める。昭和39年(1964年)から約4年にわたり外国を放浪。モンブラン、キリマンジャロ、アコンカグアに登頂。昭和45年(1970年)日本エベレスト遠征隊に参加し、日本人として初めてエベレストに登頂。続いてマッキンリー(現・デナリ)に登り、世界初の五大陸最高峰登頂者となる。昭和47年(1972年)単身でグリーンランド最北の村に入り、約10ヶ月間暮らして犬ぞりの扱い方などを覚える。昭和51年(1976年)春には北極圏1万2000kmの単独犬ぞり走破を達成。昭和53年(1978年)世界初の北極点単独到達、グリーンランド縦断を成功させた。昭和57年(1982年)犬ぞりによる南極最高峰ビンソン・マシフへの往復と単独登頂を計画するが断念。昭和59年(1984年)2月世界初の厳冬期マッキンリー単独登頂を果たすが下山中に消息を絶つ。4月国民栄誉賞受賞。

## 関連イベント 講演会『グリーンランドの現在、歴史、神話』

最新のグリーンランドを紹介する講演会を開催します。

- とき＝令和6年1月7日(日) 13時～16時(開場12時30分)
- 講師＝高橋美野梨(北海道大学准教授)、中丸禎子(東京理科大学准教授)、井上光子(関西学院大学非常勤講師)、本多俊和(スチュアート・ヘンリ/元放送大学教授)
- 会場＝板橋区立植村記念加賀スポーツセンター 地下1階武道場
- 定員＝50名/入場無料(要申し込み)

グリーンランドの面積は日本の約6倍、人口は板橋区の約1/10、首都ヌークの1月の平均気温は軽井沢の寒い日の最低気温と同じくらい。しばしば地球温暖化の最前線として、失われゆく「自然」を中心に語られるグリーンランドには、人間の暮らしがあり、歴史があり、文化があります。植村直己さんが50年前にイヌイットと暮らしたグリーンランドは、今、どうなっているのでしょうか。現在の背後にはどのような歴史や文化があるのでしょうか。この講演会では、政治学、文学、歴史学、人類学の研究者が、グリーンランドの現在、歴史、神話をご紹介します。

\*お申し込み方法等詳細は、11月25日(土)から植村冒険館のホームページでご案内します

## 【プロフィール】山崎哲秀 ●やまさき・てつひで



1967年兵庫県生まれ。植村直己に憧れて1988年にアマゾン川イカダ下り単独行を行う。1989年からは北極圏(主にグリーンランド)の遠征を重ね、グリーンランド北西部エスキモー式の犬ぞり技術や狩猟技術を習得する。「アバナット北極プロジェクト」を立ち上げ、2006年から毎年シオラパークに通い約半年滞在して、定点観測や犬ぞりでフィールド研究者の観測サポートを続けている。

\*お申し込み方法等詳細は、11月25日(土)から植村冒険館のホームページでご案内します